

公益社団法人 日本産科婦人科学会から皆様への提言 (ヒト精子・卵子・受精胚や、死亡した胎児・新生児の臓器等を取り扱う研究について)

医学研究は安全で有効な診断・治療法の発展をもたらします。その中でヒトの精子・卵子・受精胚や、死亡した胎児・新生児の臓器等を取り扱う研究も、将来の医療の発展にとって重要です。しかし、それらの実施にあたっては生命倫理や人権への配慮、さらには社会的な受容性を慎重に考慮する必要があります。

日本産科婦人科学会の会員がヒトの精子・卵子・受精胚や、死亡した胎児・新生児の臓器等を用いる研究を行う際に大切にしていること

法令・指針の尊重

以下に示します法令や政府・省庁が定める倫理指針に従います。

研究対象者の尊重

研究に協力いただく方々の安全、権利、プライバシーを守り、十分な説明と同意に基づいて実施します。

未来のいのちを守るために

次世代の医療の発展に役立つ大切な研究です。



人対象研究指針



クローン技術法



ES細胞樹立指針



ES分配指針



ES使用指針



生殖細胞作成指針



受精胚研究指針



遺伝改変研究指針



公益社団法人 日本産科婦人科学会
Japan Society of Obstetrics and Gynecology

